



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

株式会社 **ハーモニック・ドライブ・システムズ**

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月21日

このプレゼンテーション資料には、2021年5月21日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。



2021年3月期 決算の概況

2021年3月期 連結業績(対従来予想比)

単位:百万円

	従来予想(21年2月8日発表)		21年3月期		対従来予想比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	37,000	100.0	37,034	100.0	34	0.1
営業利益	1,000	2.7	865	2.3	▲134	▲13.4
経常利益	1,100	3.0	1,366	3.7	266	24.3
当期純利益	500	1.4	662	1.8	162	32.5
EPS(円)	5.19	—	6.88	—	1.69	32.5

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

2021年3月期 連結業績(対前期比)

単位:百万円

	20年3月期		21年3月期		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	37,487	100.0	37,034	100.0	▲453	▲1.2
営業利益	▲195	—	865	2.3	1,061	—
経常利益	236	0.6	1,366	3.7	1,130	478.2
当期純利益	▲1,095	—	662	1.8	1,757	—
EPS (円)	▲11.38	—	6.88	—	18.26	—
設備投資額	7,892	—	1,959	—	▲5,933	▲75.2
減価償却費	7,730	—	7,389	—	▲341	▲4.4
研究開発費	2,195	—	2,444	—	248	11.3

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

2021年3月期 主要グループ会社の業績

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	対前期増減率(%)	金額	対前期増減率(%)
(株) ハーモニック・ドライブ・システムズ	—	24,264	22.6	1,868	—
米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (51%)	5,150	▲17.7	163	▲55.2
(株) ハーモニック・エイティ	100%	1,706	▲4.1	34	136.3
哈默纳科(上海)商贸有限公司 (中国)	100%	2,385	▲28.4	104	▲47.9
ハーモニック・ドライブ・エスイー (ドイツ)	74.7%	9,818	▲23.0	199	▲53.6

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2019/12期:1US\$ = 109.05円 2020/12期:1US\$ = 106.82円

※3 為替レート 2019/12期:1元 = 15.78円 2020/12期:1元 = 15.48円

※4 為替レート 2019/12期:1€ = 122.07円 2020/12期:1€ = 121.81円

※5 米国子会社(連結)の当期純利益は、非支配株主利益控除後の金額です。

※6 ハーモニック・ドライブ・エスイーは傘下の子会社を含む連結決算の金額であり、非支配株主利益控除前の金額です。

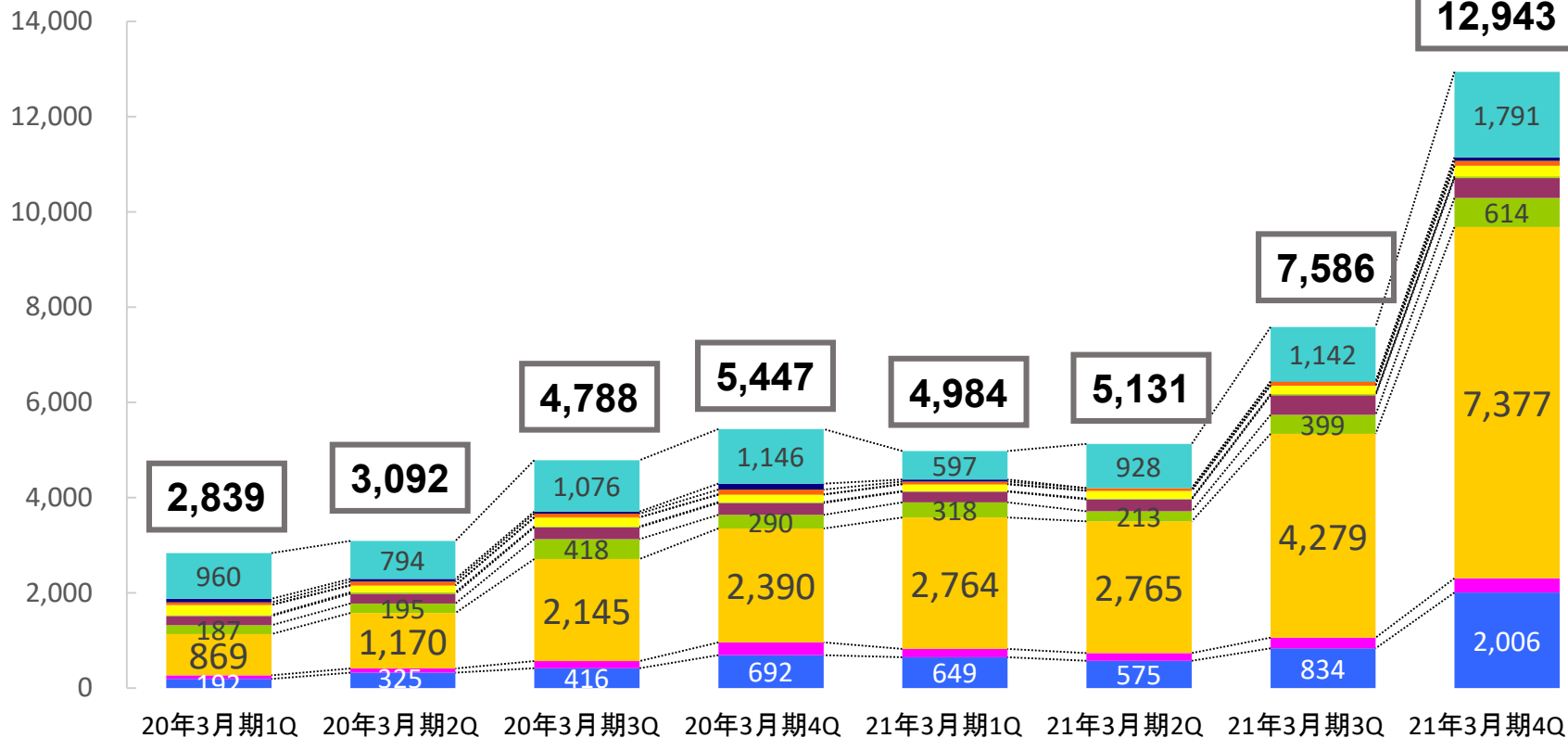
2021年3月期 単体業績(対前期比)

単位:百万円

	20年3月期		21年3月期		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	19,788	100.0	24,264	100.0	4,476	22.6
営業利益	380	1.9	2,573	10.6	2,193	576.8
経常利益	848	4.3	2,764	11.4	1,915	225.7
当期純利益	▲173	▲0.9	1,868	7.7	2,041	—
EPS (円)	▲1.80	—	19.41	—	21.20	—
設備投資額	5,022	—	545	—	▲4,477	▲89.1
減価償却費	3,289	—	2,872	—	▲417	▲12.7
研究開発費	1,572	—	1,807	—	234	14.9

単体用途別「受注高実績」【四半期】

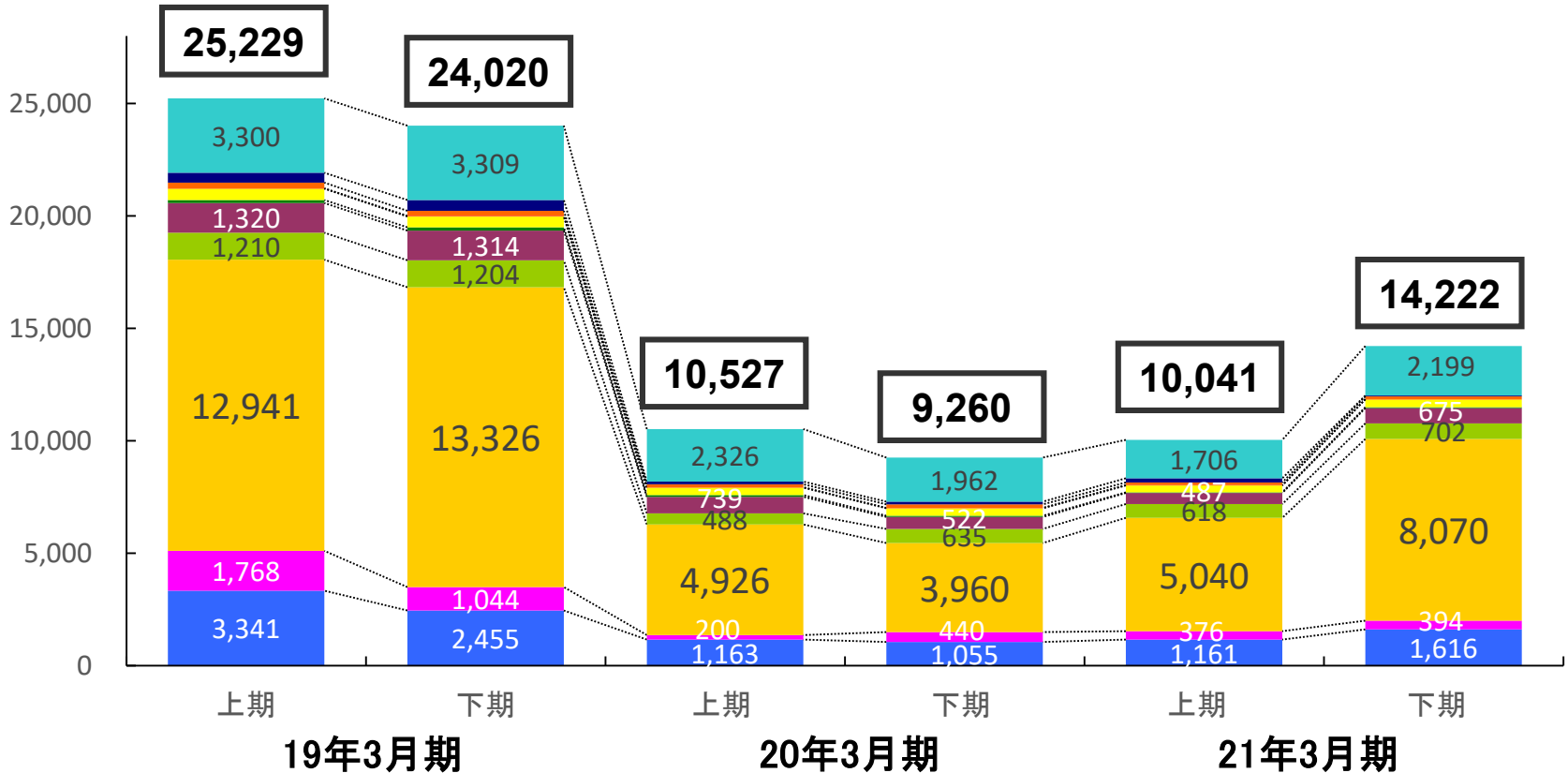
単位：百万円



- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーターメーカー向ギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機械
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- その他

単体用途別売上高

単位: 百万円

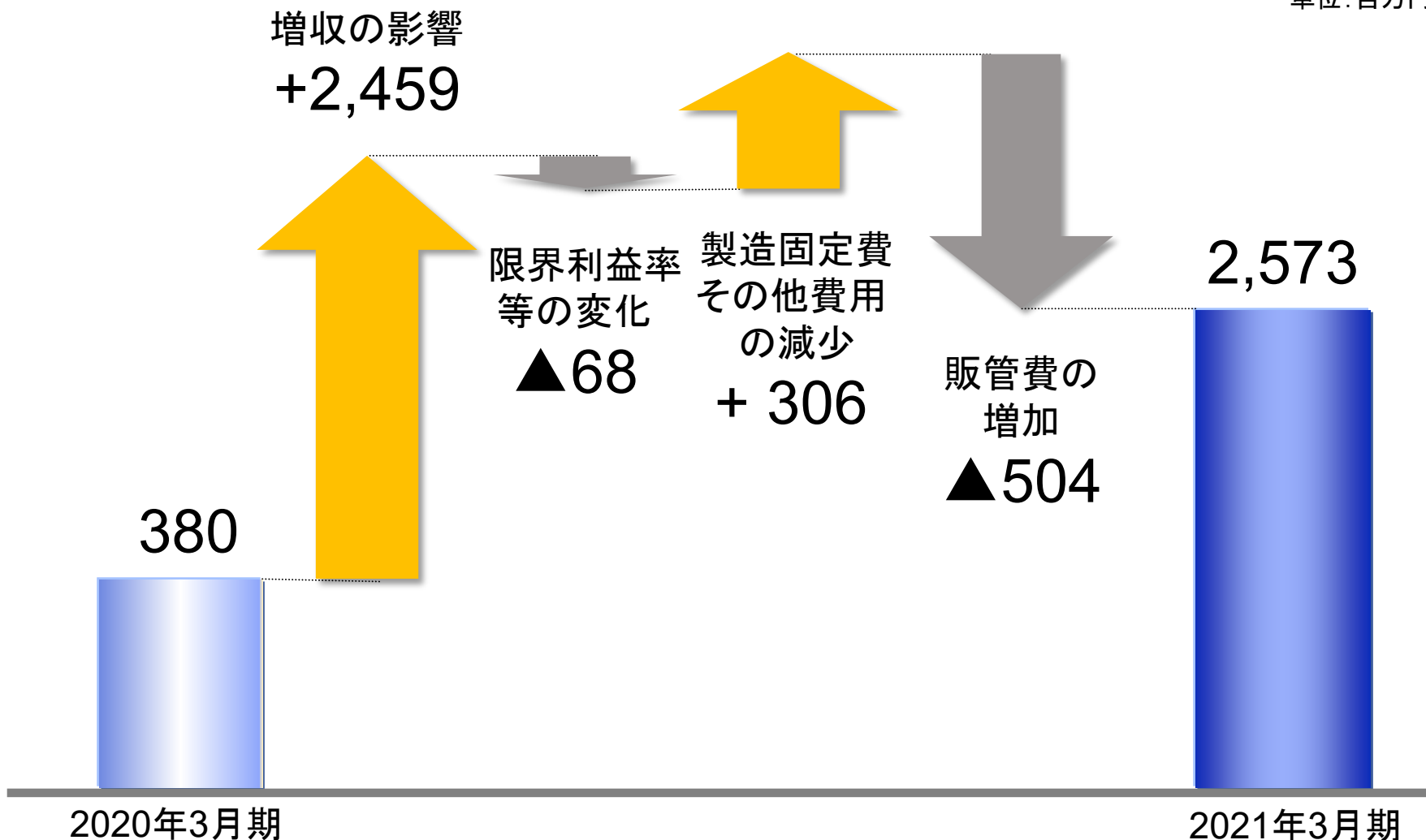


- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 産業用ロボット
- モーターメーカー向ギアヘッド
- 金属工作機械
- 印刷紙工機械
- 光学機械
- 荷役運搬機械
- 計測試験機器
- 石油掘削装置
- その他

2021年3月期

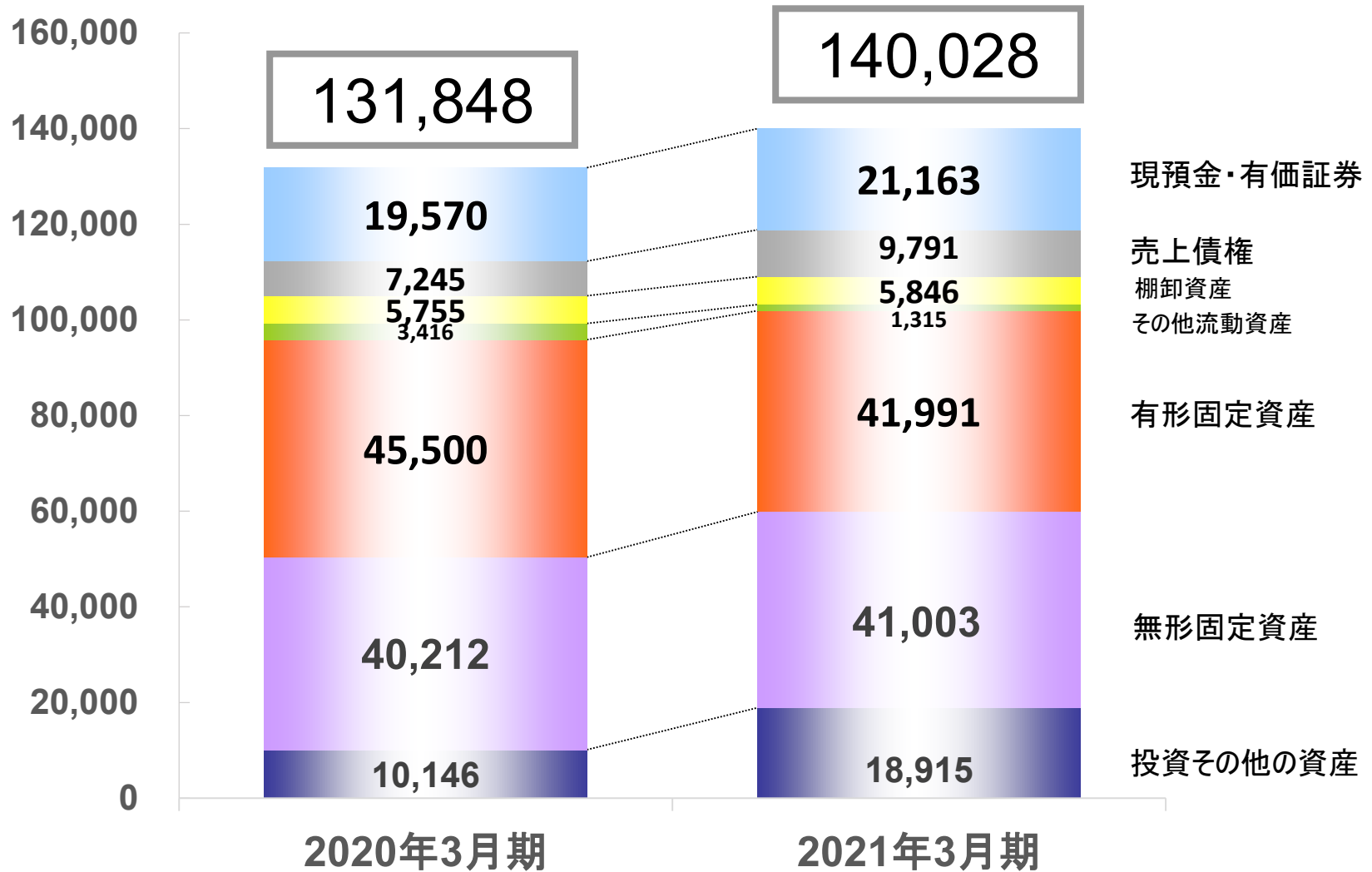
単体営業利益 対前期比増減要因

単位:百万円



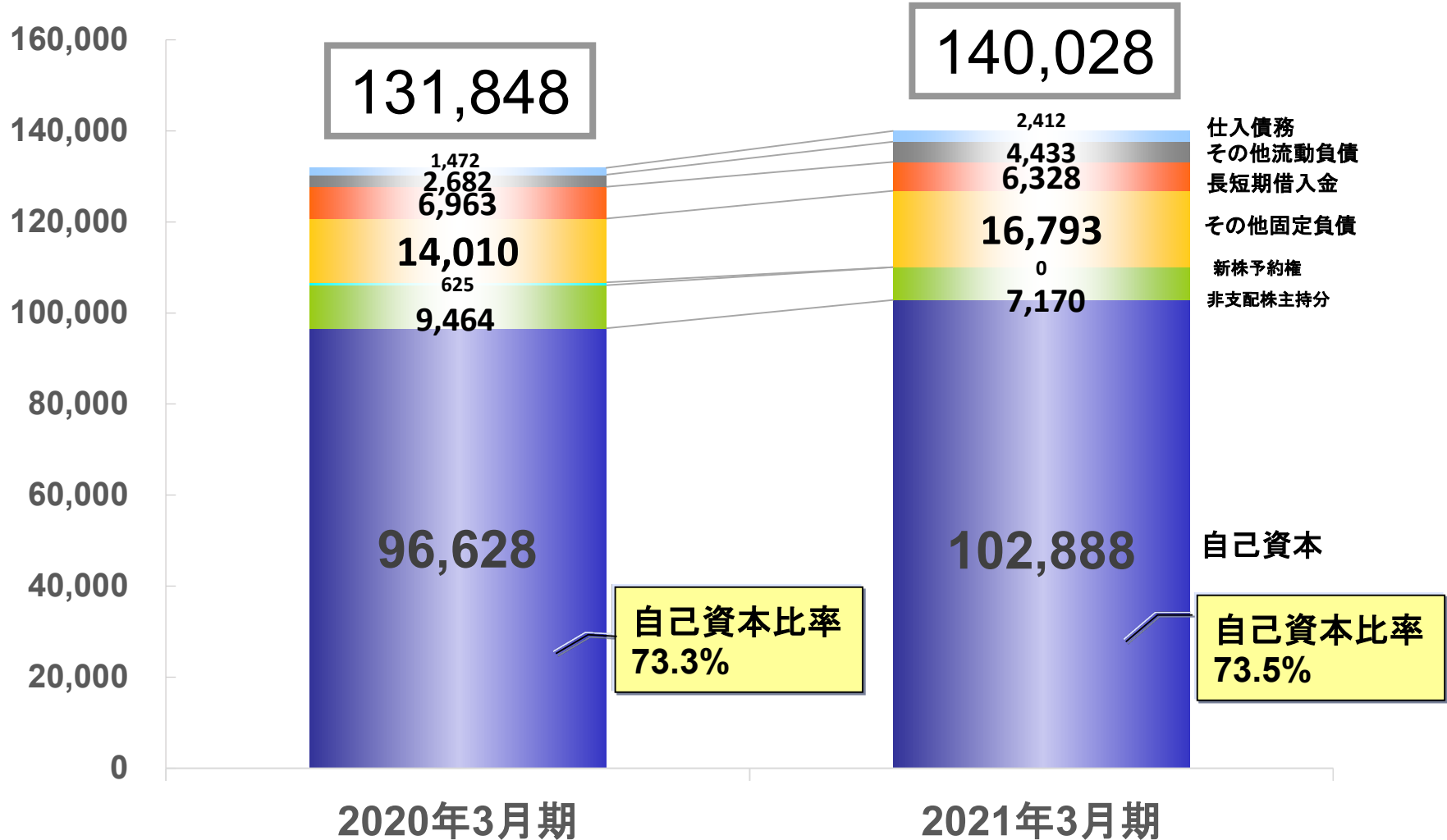
連結資産の状況

単位: 百万円



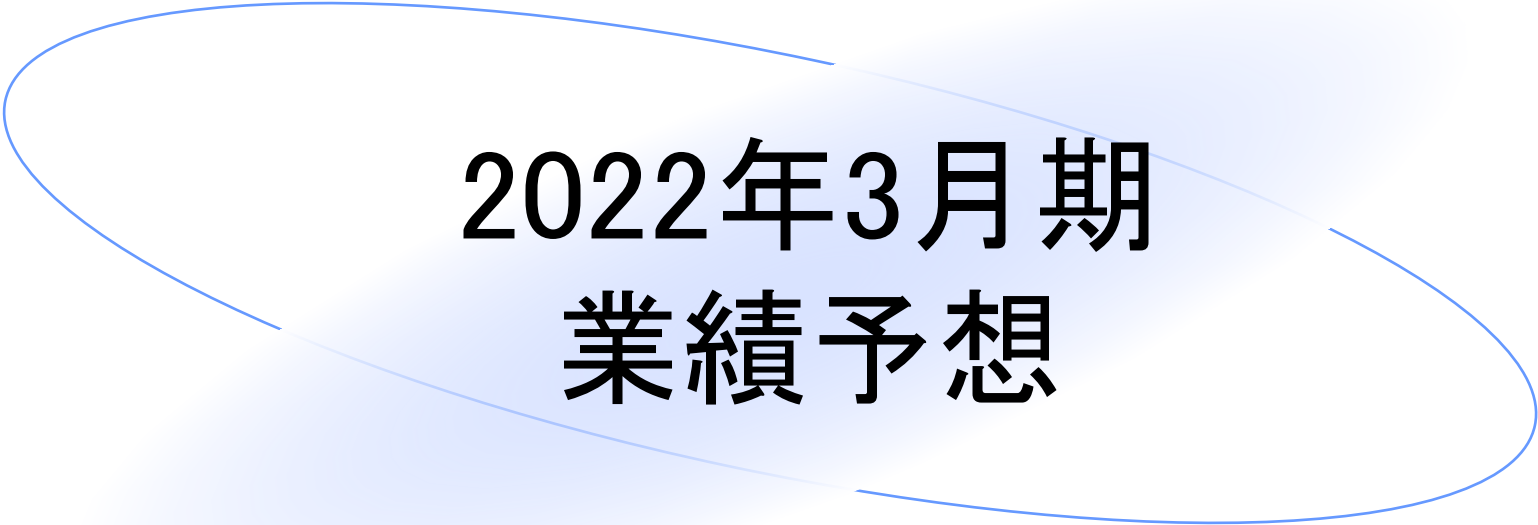
連結負債純資産の状況

単位: 百万円



連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円	2020年3月期	2021年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,950	9,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲12,537	▲4,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,362	▲3,611
換算差額	▲33	▲108
現金及び現金同等物の増(▲減)額	742	1,654
現金及び現金同等物の期末残高	18,342	19,996



**2022年3月期
業績予想**

2022年3月期 連結業績予想

単位:百万円

	21年3月期		22年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	37,034	100	52,000	100.0	14,965	40.4
営業利益	865	2.3	6,600	12.7	5,734	662.2
経常利益	1,366	3.7	6,700	12.9	5,333	390.2
当期純利益	662	1.8	4,700	9.0	4,037	609.4
EPS (円)	6.88	—	48.82	—	41.93	609.4
設備投資額	1,959	—	6,500	—	4,540	231.7
減価償却費	7,389	—	8,000	—	610	8.3
研究開発費	2,444	—	3,000	—	555	22.7

※22年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥105.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益の額を表示しております。

※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産(のれん含む)に係る償却費の合計額を表示しております。

2022年3月期 主要グループ会社の業績予想

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
	—	38,000	56.6	5,000	167.7
※2	100% (100%)	5,500	6.8	200	22.5
	100%	2,100	23.0	100	190.6
※3	100%	3,600	50.9	150	43.9
※4	100%	12,000	22.2	1,000	400.2

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2021/12期:1US\$ =106.82円 2022/12期予想:1US\$ =105.00円

※3 為替レート 2021/12期:1元 =15.48円 2022/12期予想:1元 =16.00円

※4 為替レート 2021/12期:1€ =121.81円 2022/12期予想:1€ =125.00円

2022年3月期 単体業績予想

単位:百万円

	21年3月期		22年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	24,264	100.0	38,000	100.0	13,735	56.6
営業利益	2,573	10.6	6,800	17.9	4,226	164.2
経常利益	2,764	11.4	6,800	17.9	4,035	146.0
当期純利益	1,868	7.7	5,000	13.2	3,131	167.7
EPS (円)	19.41	—	51.94	—	32.54	167.7
設備投資額	545	—	5,700	—	5,154	944.9
減価償却費	2,872	—	3,300	—	427	14.9
研究開発費	1,807	—	2,300	—	492	27.2

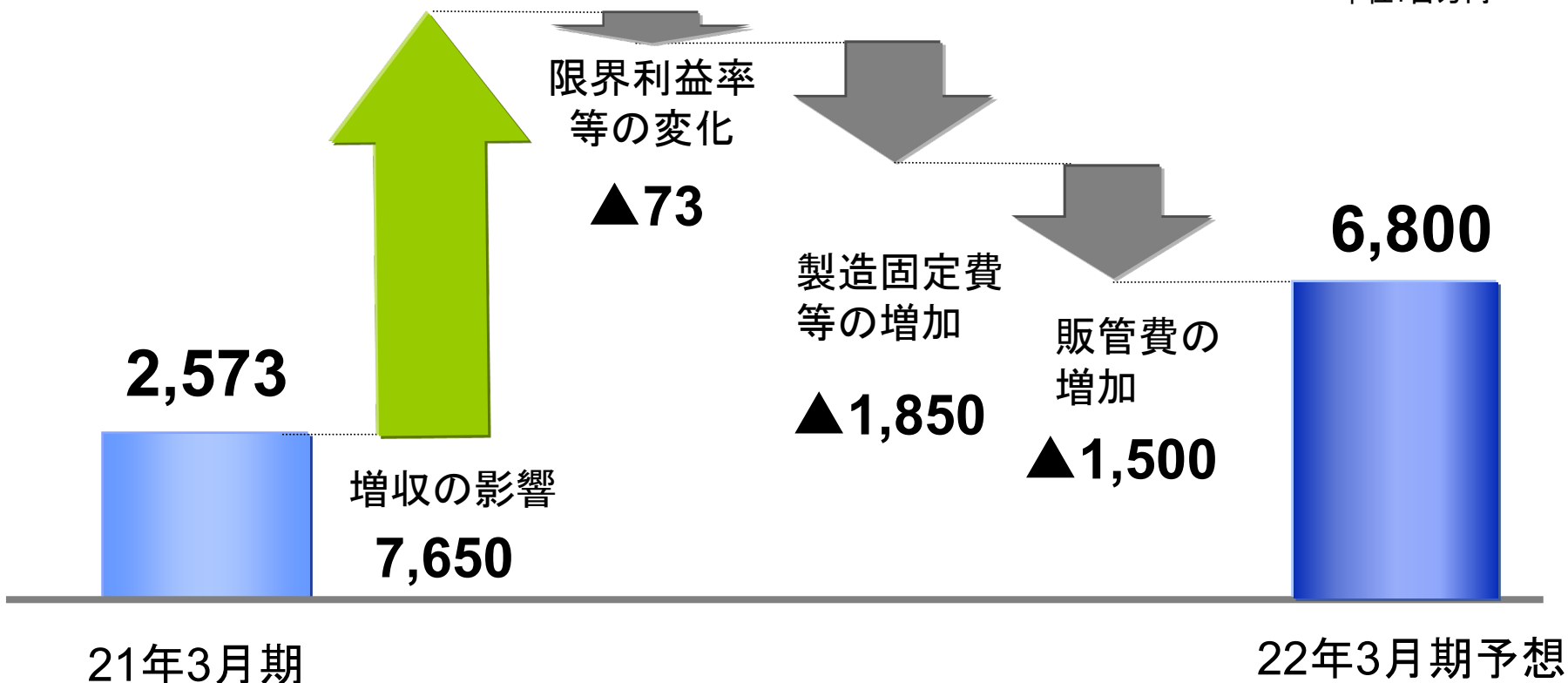
※22年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥105.00 1€ = ¥125.00 1元 = ¥16.00

※減価償却費は有形固定資産、無形固定資産に係る償却費の合計額を表示しております。

2022年3月期予想

単体営業利益 対前期比増減要因

単位:百万円



新中期経営計画及び 長期ビジョン

1. 前中期経営計画の振り返り (2018～2020年度)

1-1. 2018-2020中期経営計画

～創立50周年～

急拡大する成長機会を着実にとらえ、一段上のステージへ

1

RD, MT, AD事業の拡大(3本柱確立)

《HD グローバル月産能力 28万台+α 体制構築》

2

QCDS能力引き上げによる顧客満足の上昇

3

グループ各社の能力を引き上げ、総合力を強化

4

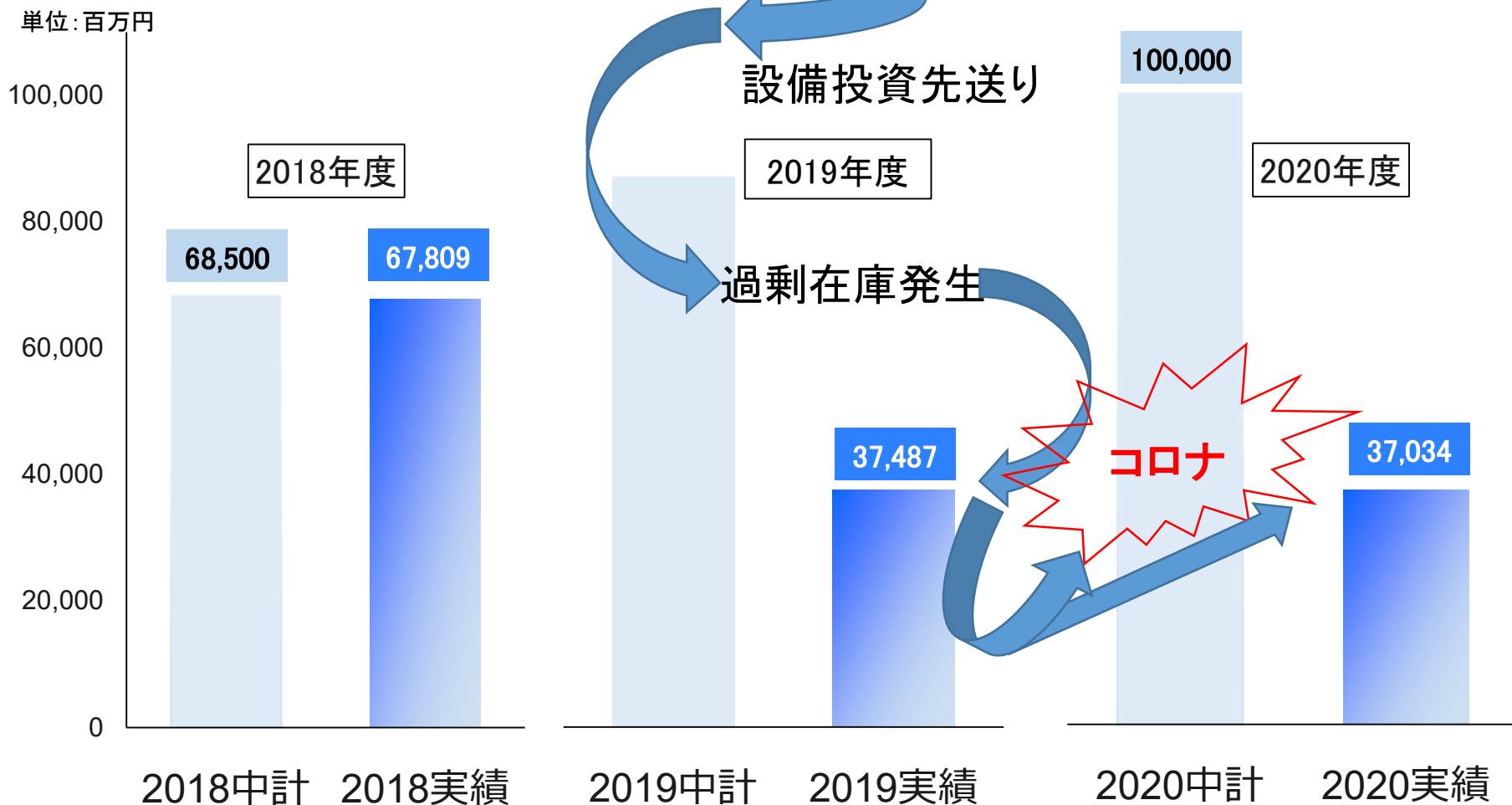
成長を支える経営基盤の強化(特に人材)

5

2030年, 2050年に向けた成長の布石

1-2. 連結売上高【中期経営計画 対 実績】

米中貿易摩擦



1-3. 収益計画と実績(連結)

(単位:百万円)

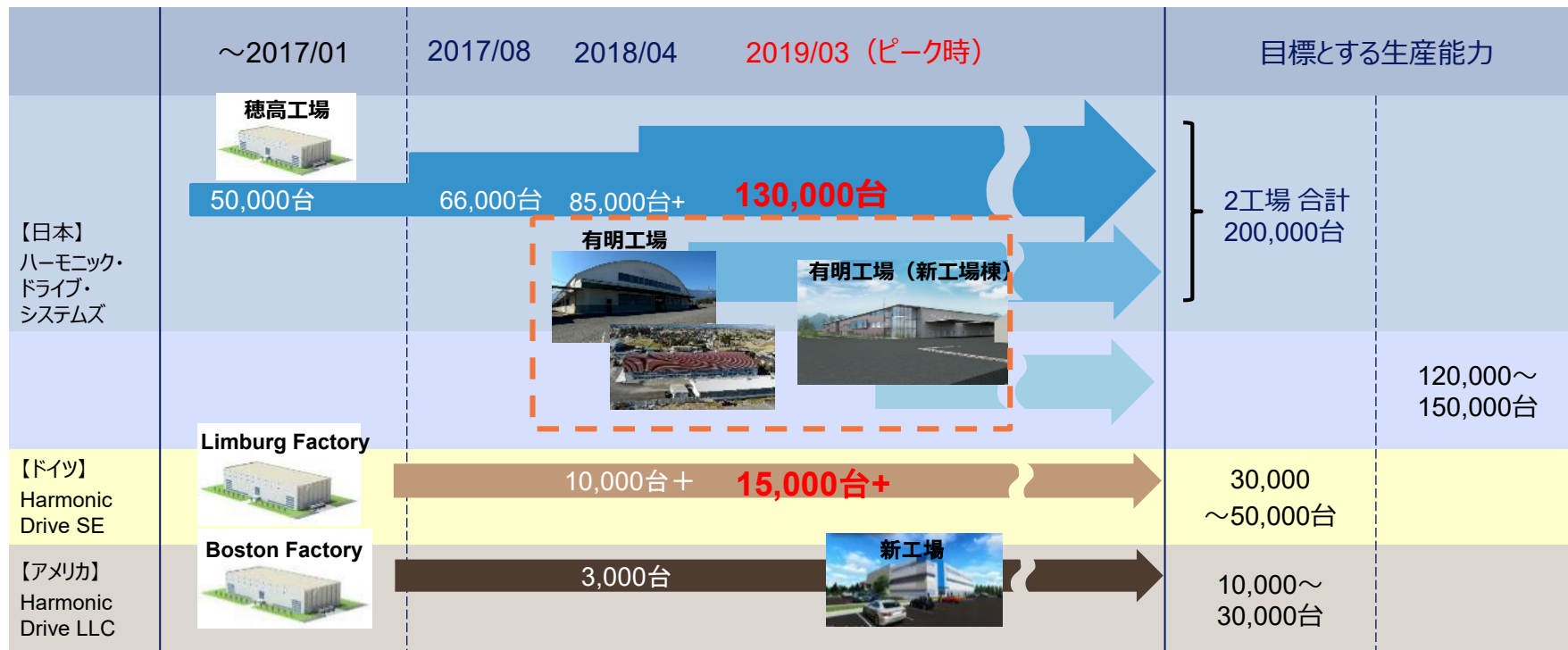
	2020年度					
	中期経営計画		実績		対計画比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	100,000	100.0	37,034	100.0	▲62,965	▲63.0
営業利益	26,000	26.0	865	2.3	▲25,134	▲96.7
当期純利益	17,000	17.0	662	1.8	▲16,337	▲96.1

	中期3カ年累計計画 (2018年度～2020年度計画)	中期3カ年累計実績 (2018年度～2020年度実績)
設備投資額	71,000	33,729
減価償却費	25,500	21,646
研究開発費	9,450	7,116

1-4. 工場増床及び設備能力

1. 波動歯車装置

(数値は月産台数)



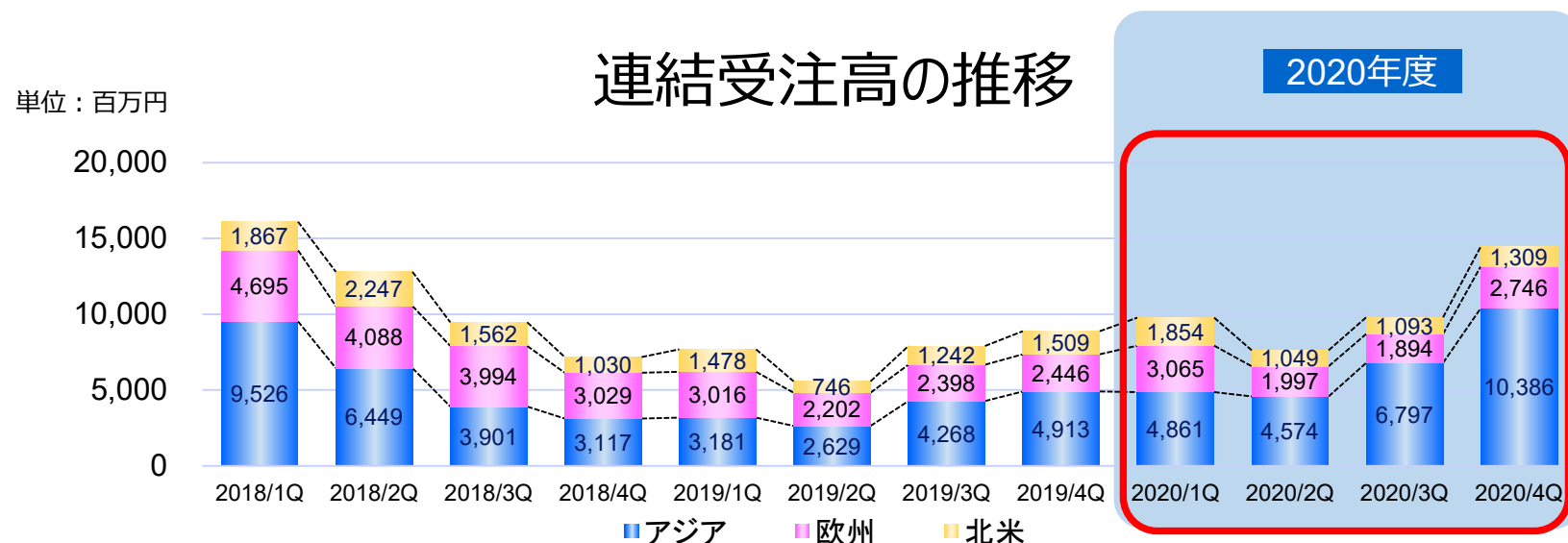
2. クロスローラーベアリング



2.現在の当社を取り巻く 事業環境認識

2-1. 当社を取り巻く環境

人件費増・人手不足・非接触需要 ➡ 需要の回復

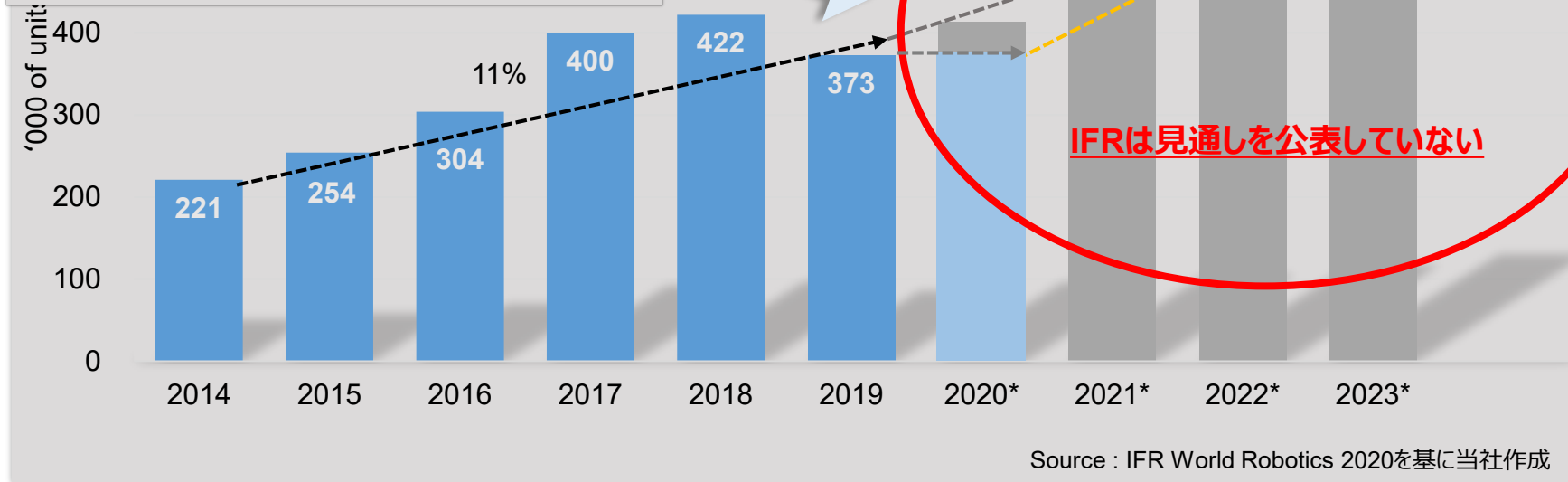
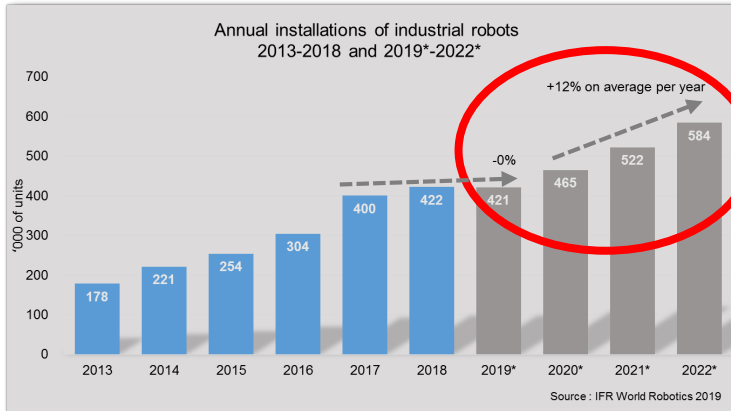
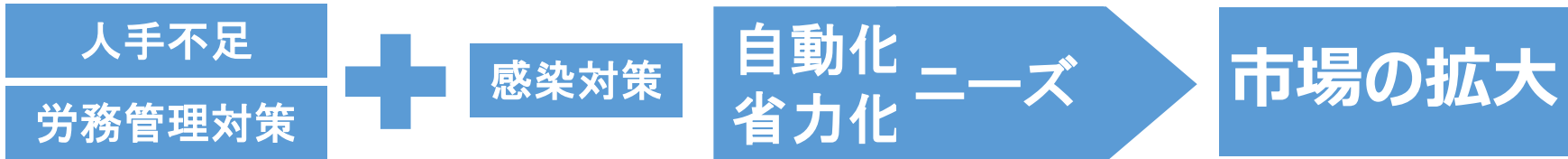


アジア 中国を中心に設備投資需要が拡大⇒ロボット受注の増加

欧州 産業用ロボット向けの受注回復、その他用途も一定の底打ち感

北米 半導体及び医療向け用途が堅調

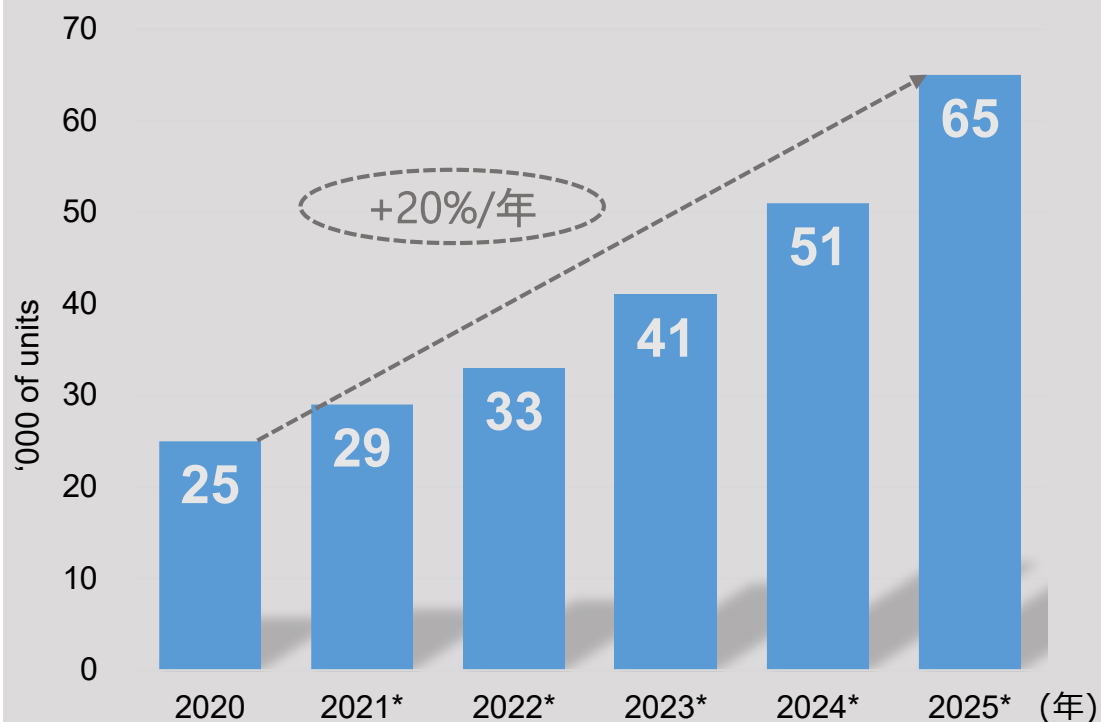
2-2. FAロボット市場の市場予測



2-3. 協働ロボットの市場予測

- コロナ禍に対応 ▶ 三密回避と労務管理対策の1つとして協働ロボット需要の高まり
- 協働ロボット市場に新規参入を表明する企業増加 ▶ 市場の拡大

協働ロボットの世界市場規模推移



注: 2020年は見込値、2021年以降は予測値、メーカー出荷台数ベース

Source: (株)矢野経済研究所「協働ロボット世界市場に関する調査(2020年)」2021年2月12日発表を基に当社作成



2-4. 今後の見通し: 半導体製造装置、車載

半導体製造装置

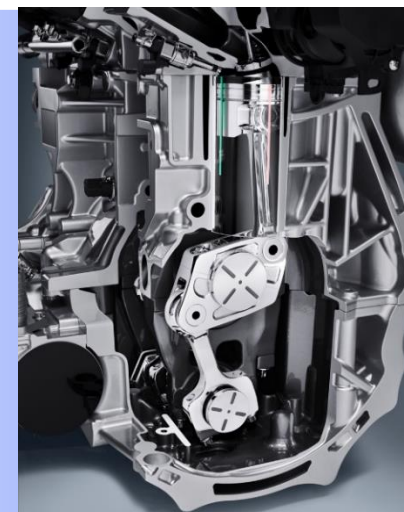
- データ需要急増に伴う世界的な半導体不足
 ▶ 半導体大手の大規模投資
- ファウンドリによる最先端技術への投資が加速
- 中国で半導体国産化の動きが加速。生産能力を拡張しており、半導体製造装置の販売が増加



車載: 可変圧縮比(VCR)エンジン用途

- 搭載性、燃費性能、高速走行時の静粛性の向上を実現
- 日産自動車次世代エンジンの中心へ
- 内燃機関、e-POWER

拡大期に突入

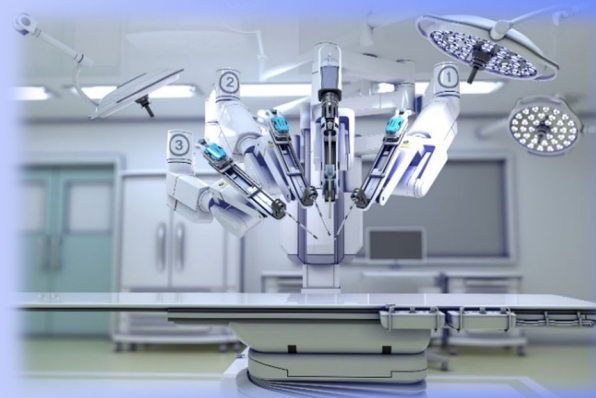


日産自動車株式会社様

2-5. 注力用途：手術支援ロボット、eVTOL

手術支援ロボット

- 世界中で多様なロボットの開発が進む
- 当社及びグループ会社が開発段階から参画
- 当社製品の強み(小型・超精密)が生かされる市場
- 5G拡大に伴う遠隔手術の普及により、市場が拡大
当社の今後のけん引役として期待



eVTOL(空飛ぶ車)

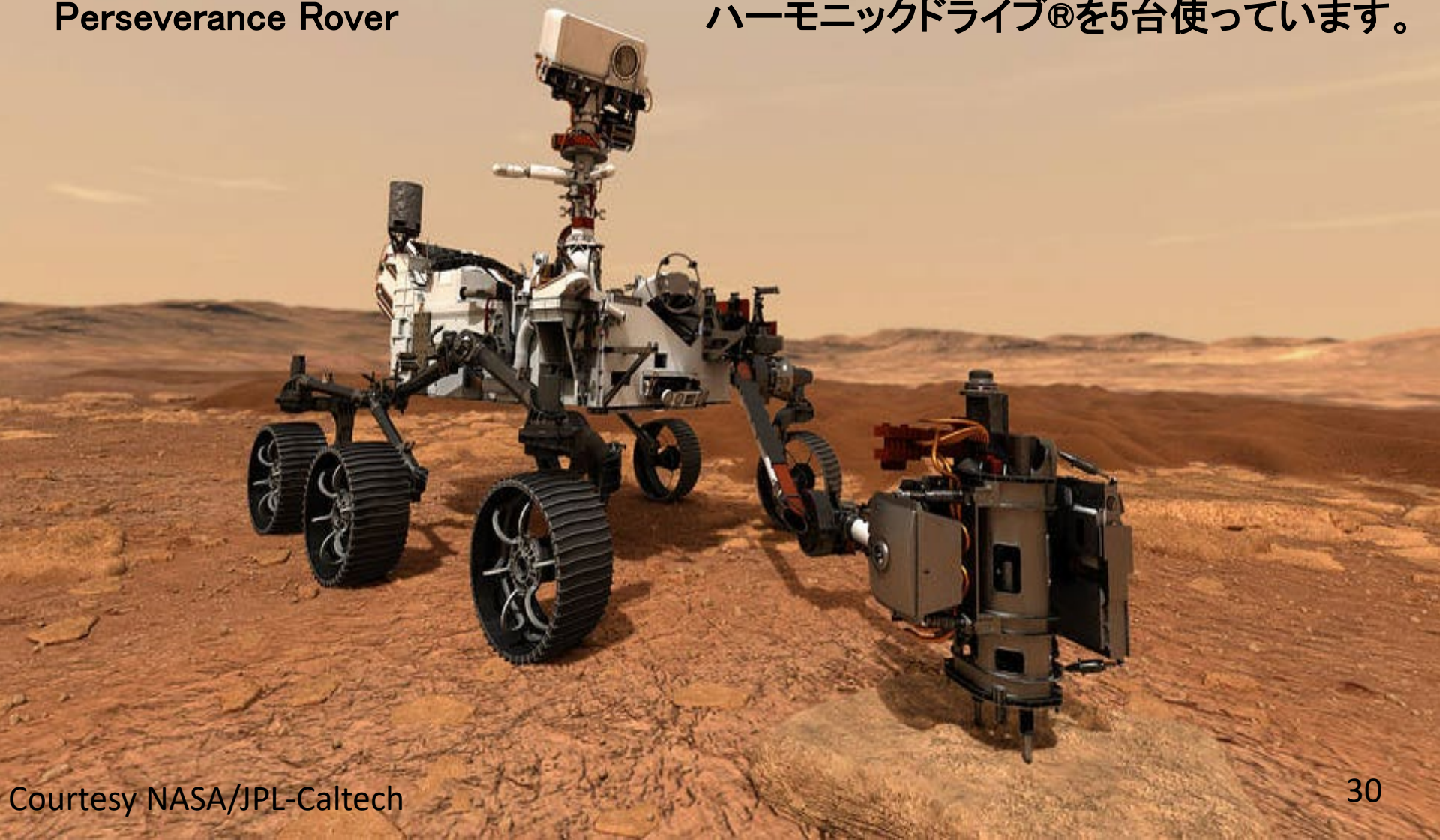
- 今後10年間に急速に成長が見込まれる用途
- 小型・軽量を特徴とする当社製品が航空機の
電動化に寄与
- 騒音と二酸化炭素の排出を大幅に抑えた
エコ社会を実現



2-6. 注力用途：宇宙

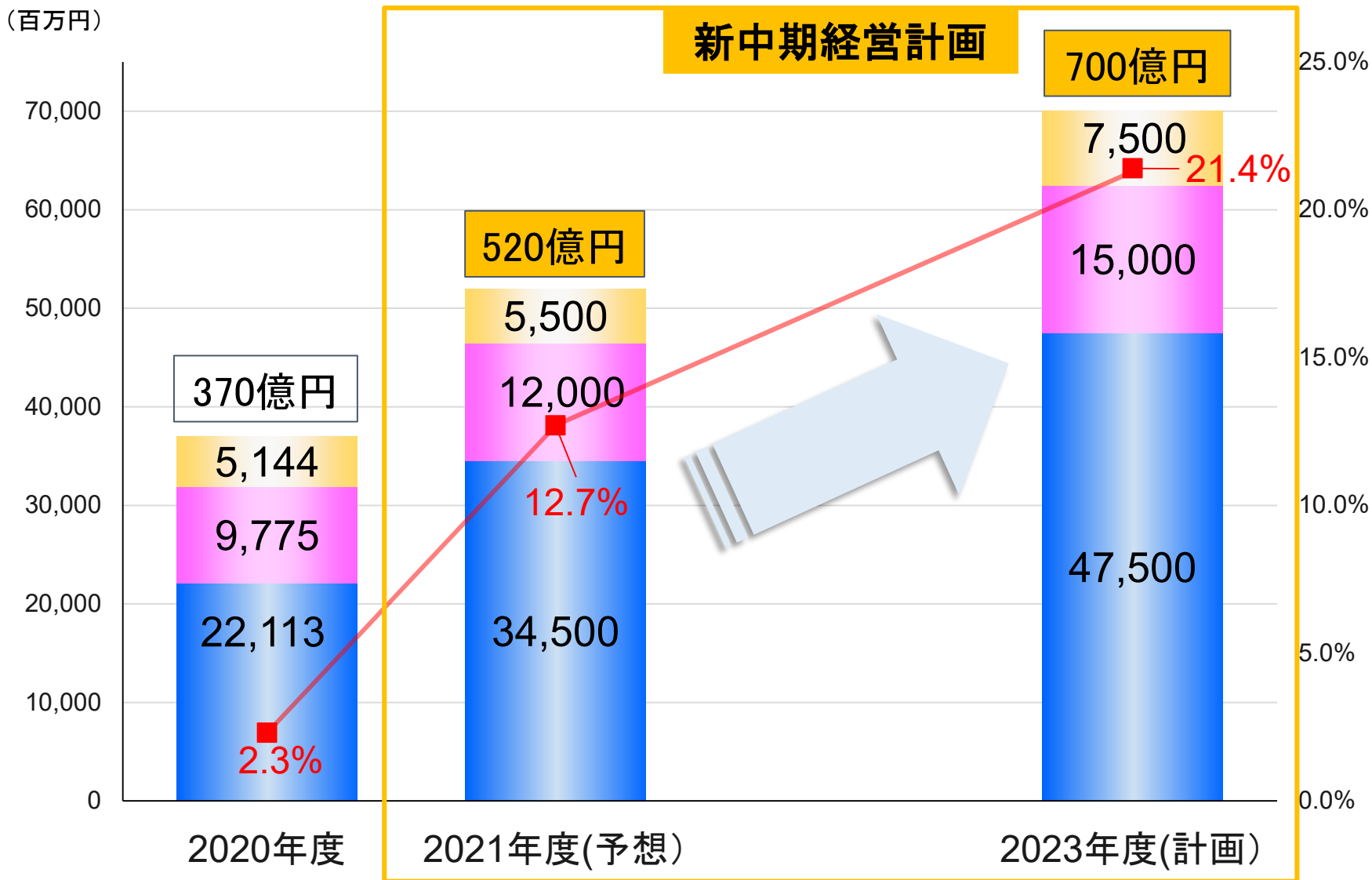
火星探査車
Perseverance Rover

2021年2月に火星に着陸した探査車は
ハーモニックドライブ®を5台使っています。



3. 2021-2023年度 中期財務目標

3-1. 新中期経営計画の連結売上高・営業利益率



3-2. 収益計画(連結)

(単位:百万円)

	2020年度(実績)		2021年度(予想)		2023年度(計画)	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	37,034	100.0	52,000	100.0	70,000	100.0
営業利益	865	2.3	6,600	12.7	15,000	21.4
当期純利益	662	1.8	4,700	9.0	10,500	15.0

	前中期3カ年累計 (2018年度～2020年度実績)	新中期3カ年累計 (2021年度～2023年度計画)
設備投資額	33,729	15,000
減価償却費	21,646	25,000
研究開発費	7,116	9,000

3-3. 2021-2023経営目標

		2020年度
成長性	売上高成長率	370億円
収益性	営業利益率	2.3%
効率性	ROE	0.7%
安定性	自己資本比率	73.5%
株主還元	配当性向	10円/株
設備投資	設備投資額 (3年合計)	337億円
開発技術	開発費 (3年合計)	71億円



2023(中計最終年度)経営目標	
700億円 24%/年	・市場の拡大を当社の成長率につなげる
20%以上	・価値ある製品の提供による収益性向上
10%以上	・ROE > 株主資本コスト
70%以上	・成長性と安定性を両立した財務基盤を構築
30%以上	・安定配当を継続
150億円	・当社の成長を支える設備投資
90億円	・新技術・技能を創出

4.新中期経営計画の基本方針 (2021年度～2023年度)

4-1. 基本方針

新たな50年に向けて～確かな成長ステージへ～

1 お客様の期待値を満足させるQCDSの実現

2 価値ある製品の
開発とサービスの
強化によるRD、AD、
MT事業の拡大

3 時代の要求に
適合した経営
基盤の構築

4 海外グループ
会社・機関との連携
強化とシナジーの
最大化

5 固定概念にとらわれず、次の50年の新常識を創造する

1. お客様の期待値を満足させるQCDSの実現

Q

シグマゼロ:不適合・クレームゼロ

C

生産性向上, VA+VEの一層の充実

D

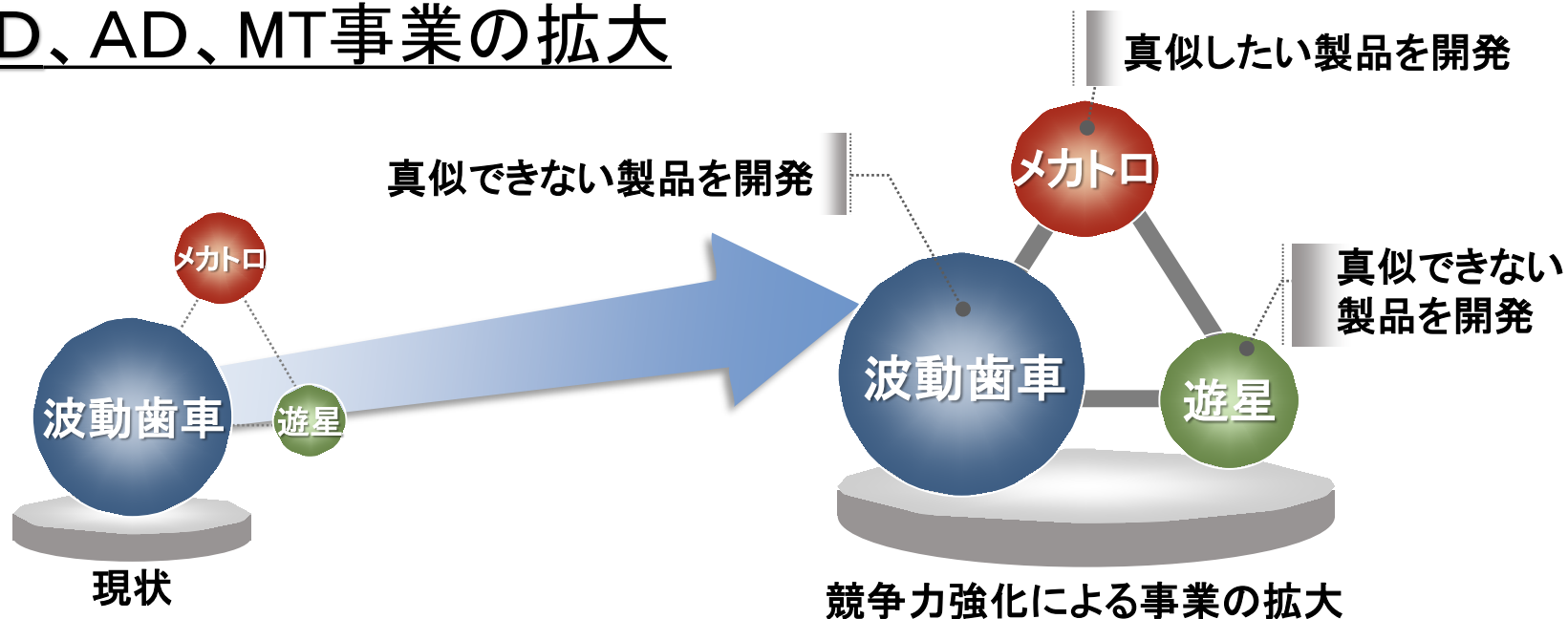
顧客希望納期に対するコミット

S

ER活動の充実:スピードアップ

お客様の満足を実現

基本方針 2. 価値ある製品の開発とサービスの強化による RD、AD、MT事業の拡大



RD:波動歯車装置

- 次世代用途に適合していくための新技術・技能の創出と製品化

AD:精密遊星減速装置

- 事業再構築による地域、各種用途に即した製品提供の拡大

MT:メカトロニクス製品

- お客様の”やりたい”を実現し得る製品提供と課題解決力のさらなる向上

基本方針 3. 時代の要求に適合した経営基盤の構築

- 持続可能な経営の推進 (SDGs)
- 事業拡大をけん引できる人材の育成、多様性を高める人事制度や働き方の構築
 - 同質的企業風土からの脱皮
- IT強化戦略・当社独自のIoT構想実践
- 成長を支える財務基盤の確立と資金調達力の強化

基本方針 4. 海外グループ会社・機関との連携強化とシナジーの最大化

- 各拠点の経営資源の最大活用
 - 地域最適・世界最適による価値の追求
- 海外研究機関との積極的な研究活動の維持・促進
 - 当社製品のさらなる進化
- グローバル生産体制の確立
 - 地域最適生産・共通品質

基本方針 **5. 固定概念にとらわれず、次の50年の新常識を創造する**

- 新素材、新原理、新機構、新工法への積極的な挑戦
- 知能メカトロニクスの実現に向けた布石
- 社会の変化に敏感な感覚と非常識を受入れる風土の醸成

社会の要求

- 環境意識の高まり
- 自動化・省力化
- 新たな価値の創造

当社の価値拡大

- 環境貢献
- 産業の成長と豊かな社会の実現
- 当社の企業価値向上

当社の製品：小型・軽量・精密に強み

当社の挑戦

ニアネットシェイプ※化

新素材・新工法

新原理・新機構 (Abacus等)

知能メカトロニクス

■材料削減

■消費エネルギーの削減

■エネルギー効率の向上

■技術革新への貢献

5. ミッション・長期ビジョン

5-1. 経営理念を中核に置いた更なる取り組み

《経営理念》

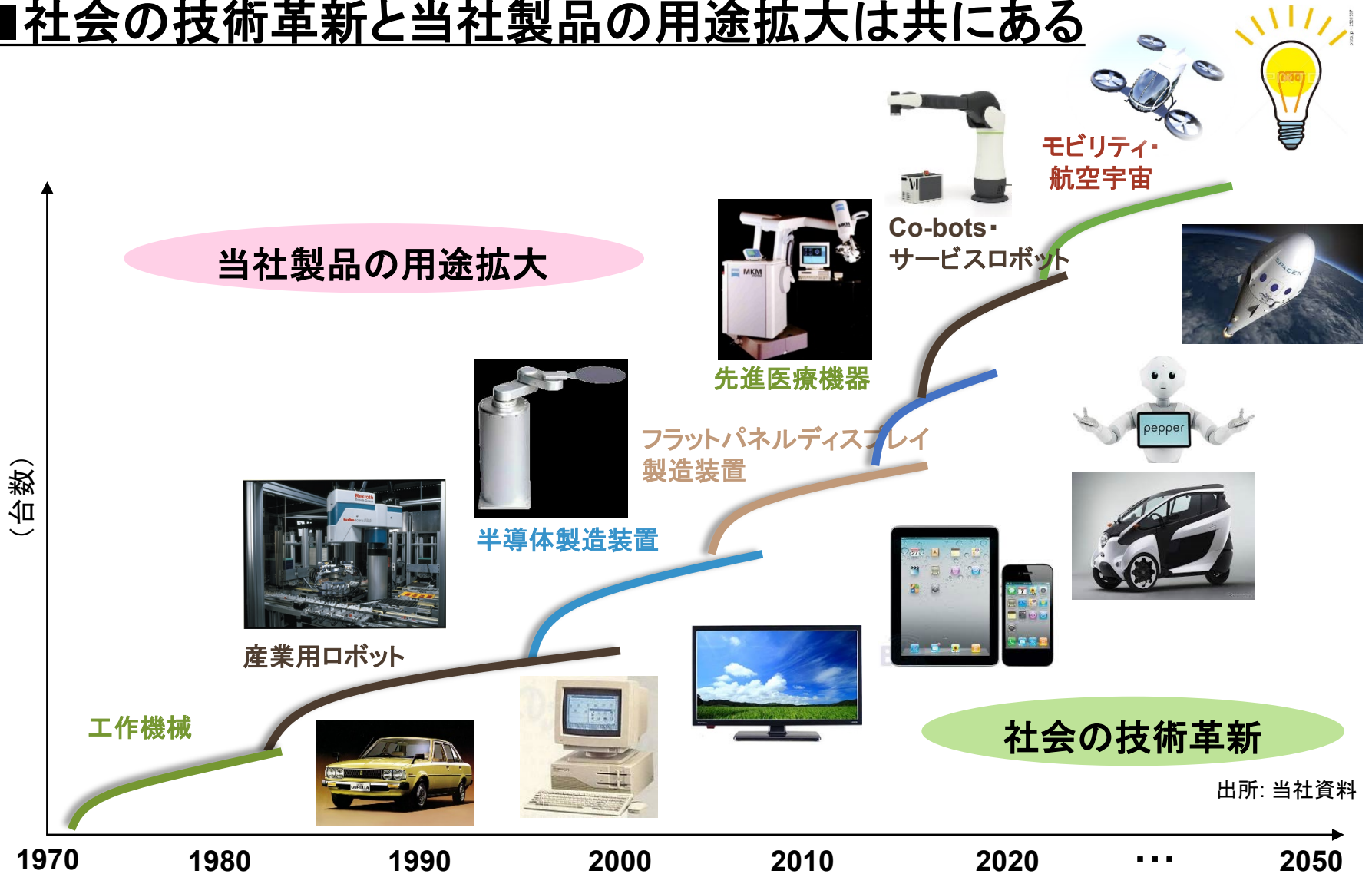
1. 個人の尊重
2. 存在意義のある企業
3. 共存共栄
4. 社会への貢献

- 当社の経営理念は不変
- 基本方針に反映
- 持続可能な社会への貢献

当社のSDGsに対する取り組みの根幹

5-2. 用途拡大と当社の成長

■ 社会の技術革新と当社製品の用途拡大は共にある



5-4. ミッション・長期ビジョン

ミッション → モーションコントロール技術で社会の技術革新に貢献する

長期ビジョン → ～トータル・モーション・コントロールの追求～

環境の変化を捉えた
新技術・技能への
挑戦と創出

お客様の期待値を
超えるQCDSの実現

企業活動を通じて
持続可能な社会に
貢献する

経営理念

個人の尊重

存在意義のある企業

共存共栄

社会への貢献



Harmonic Drive Systems Inc.

株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

